

(全8枚中の1枚目)

③ 中 学 校 ・ 高 等 学 校 英 語

(解答は、すべて解答用紙に記入すること)

(①～⑤はすべての受験者が解答すること)

1 次の文章の①～⑩に最も適する語句を、あとのア～エからそれぞれ1つ選び、その記号を書きなさい。

(全8枚中の2枚目)

③ 中学校・高等学校 英語

(解答は、すべて解答用紙に記入すること)

① ア manipulate	イ vibrate	ウ insulate	エ inflate
② ア applied	イ accounted	ウ compensated	エ longed
③ ア advocacy	イ anatomy	ウ arrogance	エ appliance
④ ア perspiration	イ perspective	ウ perplexity	エ persistence
⑤ ア consideration	イ considerate	ウ considerable	エ considerably
⑥ ア interpretation	イ intervention	ウ intersection	エ interaction
⑦ ア compromised	イ lamented	ウ scattered	エ defaulted
⑧ ア Pesticide	イ Pessimism	ウ Optimism	エ Optimality
⑨ ア abruptly	イ coherently	ウ infinitely	エ peculiarly
⑩ ア qualifying	イ dignifying	ウ signifying	エ amplifying

2 次の英文を読み、(1)、(2)に答えなさい。

(全8枚中の3枚目)

③ 中 学 校 ・ 高 等 学 校 英 語

(解答は、すべて解答用紙に記入すること)

(全8枚中の4枚目)

③ 中学校・高等学校 英語

(解答は、すべて解答用紙に記入すること)

- (1) 文章中の①, ②について、それぞれ意味が通るように次のア～カを正しく並べ替え、2番目と4番目にくる語句の記号を書きなさい。

①	ア success	イ in	ウ the foundation	エ higher education	オ academic	カ of
②	ア learners to	イ reading	ウ process	エ substantive	オ require	カ and writing

- (2) 本文の内容にあてはまる英文を次のア～クから4つ選び、その記号を書きなさい。

- ア Scholars defined the concept of critical thinking skill differently, so that some of them think it unnecessary.
- イ Casanave (2010) and Shahini and Riazi (2011) assert that critical thinking strategies in second language acquisition is effective in the way that these studies can stimulate students to take risks.
- ウ In order to promote students' critical thinking, teachers should establish a difficult environment as "delicate scaffolding."
- エ An online reading course and forum provided a similar kind of scaffolded help as a teacher in a classroom.
- オ Research suggests that adding critical thinking to language learning enhance student motivation to learn about and develop their thinking.
- カ Most research of metacognition concentrates on learners' awareness and usage of tactics associated with their own competence levels.
- キ Successful learners and less successful learners use equivalent metacognitive strategies.
- ク Successful learners and less successful learners differ in the amount and quality of their metacognitive knowledge and socio-cultural contexts.

- 3** 次の文の①～⑤に最も適するものを、あとのア～エからそれぞれ1つ選び、その記号を書きなさい。

③ 中学校・高等学校 英語

(解答は、すべて解答用紙に記入すること)

①	ア ways to copy the teacher イ memorization strategies ウ precise answers エ an answer that was usually wrong
②	ア a dialogue among students イ teachers working together ウ students working individually エ repetitive practice
③	ア practice should have many errors イ practice should lead to confusion ウ practice should be relatively error-free エ practice is unnecessary
④	ア was spent on practice イ was devoted to more creative stuff ウ was devoted to teacher explanations エ was spent memorizing formulas
⑤	ア it also denies them the character-building opportunities イ it also provides them with the character-building opportunities ウ it also teaches them the creative brainstorming process エ it also denies them the repetitive practice

(全8枚中の6枚目)

③ 中学校・高等学校 英語

(解答は、すべて解答用紙に記入すること)

4 即興的なスピーキング能力を高めるために、あなたは生徒にどのような指導を行うか、その理由も含めて60語以上80語以内の英語で書きなさい。また、使用語数を算用数字で記入しなさい。ただし、符号は語数に含まないものとする。

5 次の文は、教師が、外国語指導助手と授業の打合せをした際に話した内容である。①、②を英語に直しなさい。

① あなたが日本の文化で興味深いと思っていることについて話してください。

② 話す際には、使用頻度の高い語や慣用表現を使ってください。

(中学校受験者のみ解答すること)

6 次の(1)、(2)に答えなさい。

(1) 次の文は、新中学校学習指導要領(平成29年告示)「外国語」の「各言語の目標及び内容等」の「英語」の「内容」の一部である。①～⑤にあてはまる語句を書きなさい。

〔思考力、判断力、表現力等〕

(2) 情報を整理しながら考えなどを形成し、英語で表現したり、伝え合ったりすることに関する事項

具体的な課題等を設定し、コミュニケーションを行う(①)や場面、(②)などに応じて、情報を整理しながら考えなどを形成し、これらを(③)に表現することを通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 日常的な話題や社会的な話題について、英語を聞いたり読んだりして必要な情報や考えなどを捉えること。

イ 日常的な話題や社会的な話題について、英語を聞いたり読んだりして得られた情報や表現を、(④)したり(⑤)したりするなどして活用し、話したり書いたりして事実や自分の考え、気持ちなどを表現すること。

ウ 日常的な話題や社会的な話題について、伝える内容を整理し、英語で話したり書いたりして互いに事実や自分の考え、気持ちなどを伝え合うこと。

③ 中学校・高等学校 英語

(解答は、すべて解答用紙に記入すること)

(2) 次の文は、新中学校学習指導要領(平成29年告示)解説外国語編の「外国語科の目標及び内容」の「英語」の「内容」の一部である。①～⑤に最も適する語句を下のあ～とからそれぞれ1つ選び、その記号を書きなさい。

(ウ) 簡単な語句や文で書かれた日常的な話題に関する短い説明やエッセイ、物語などを読んで概要を把握する活動。

この事項では、第2の1(2)「読むこと」イ「日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれた短い文章の概要を捉えることができるようにする」に関連し、「日常的な話題」に関する「短い説明やエッセイ、物語など」の文章全体を読んだ上で、(①)に情報を整理したり、書き手が伝えたいことの大まかな内容などを把握したりする活動を示している。

指導に当たっては、学習者の(②)に合ったまとまりのある文章を最初から最後まで通して読む機会をできるだけたくさん設定することが必要である。この際も、(③)な読みから脱却し、意味のまとまりごとに英文を捉えさせることが必要である。

例えば、諸外国の中学校生活を紹介している短い文章を読む際に、それぞれの情報の関係を示す(④)に注目させながら文章の流れを理解するためのキーワードを拾わせ、全体としての内容を数文の英語でまとめさせたりするなどの活動が考えられる。また、友人や教師が休日を過ごした中で感じたことなどのエッセイを読む際には、出来事を(①)に沿って整理させ、どんな内容を伝えようとしているのかを絵や簡単な英語で表現するなどの活動が考えられる。

また、これらの活動を取り入れる際には、ペアやグループになり、読み取れたことについて生徒同士が考えを交流するなど、(⑤)の工夫をすることも大切である。

あ 学習形態	い 質問	う 名詞	え マッピング	お 逐語的
か 継続的	き 言語材料	く レベル	け 意識的	こ メモ
さ 場面設定	し 接続詞	す 図表	せ 時系列	そ 副詞
た 形容詞	ち 直訳的	つ 意向	て 文法説明	と 気持ち

③ 中学校・高等学校 英語

(解答は、すべて解答用紙に記入すること)

(高等学校受験者のみ解答すること)

7 次の(1)、(2)に答えなさい。

(1) 次の文は、新高等学校学習指導要領(平成30年告示)「外国語」の「各科目にわたる指導計画の作成と内容の取扱い」の一部である。①～⑤にあてはまる語句を書きなさい。

2 内容の取扱いに当たっては、次の事項に配慮するものとする。

(中略)

(2) 音声指導の補助として、必要に応じて(①)を用いて指導することもできることに留意すること。

(3) 文法事項の指導に当たっては、文法はコミュニケーションを支えるものであることを踏まえ、過度に文法的な(②)のみを強調したり、用語や用法の(③)などの指導が中心となったりしないよう配慮し、使用する場面や伝えようとする内容と関連付けて整理するなど、実際のコミュニケーションにおいて活用できるよう、効果的な指導を工夫すること。

(中略)

(7) 生徒が発話する機会を増やすとともに、他者と(④)する力を育成するため、ペア・ワーク、グループ・ワークなどの学習形態について適宜工夫すること。その際、他者とコミュニケーションを行うことに課題がある生徒については、個々の生徒の(⑤)に応じて指導内容や指導方法を工夫すること。

(2) 次の文は、新高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説外国語編の「外国語科の目標」の一部である。①～⑤に最も適する語句を下のあ～とからそれぞれ1つ選び、その記号を書きなさい。

(3) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

(中略)

外国語教育における「学びに向かう力、人間性等」は、生徒が言語活動に主体的・自律的に取り組むことが外国語によるコミュニケーションを図る資質・能力を身に付ける上で不可欠であるため、極めて重要な(①)である。「知識及び技能」を実際のコミュニケーションの場面において活用し、考えを形成・(②)させ、話したり書いたりして表現することを繰り返すことで、生徒に自信が生まれ、主体的・自律的に学習に取り組む態度が一層向上するため、「知識及び技能」及び「思考力、判断力、表現力等」と「学びに向かう力、人間性等」は(③)結び付いている。生徒が興味をもって取り組める言語活動を段階的に取り入れたり、自己表現活動を工夫したりするなど、様々な手立てを通して生徒の主体的・自律的に学習に取り組む態度の育成を目指した指導をすることが大切である。

本目標における「外国語の背景にある文化に対する理解を深め」については、改訂前は「言語や文化に対する理解を深め」となっており、その「文化」を「その言語の背景にある文化」と解説していたことから、今回の改訂においてはその意味合いを明確に示した。また、「言語」を外して「(外国語の背景にある)文化に対する理解」としたのは、「コミュニケーションを図ろうとする態度」を養う上では、次に述べる「聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら」コミュニケーションを図ることが大切であり、外国語の(④)によって「配慮」の仕方も異なってくるためである。あわせて、外国語の学習を通して、他者に配慮し受け入れる寛容の精神や平和・国際貢献などの精神を獲得し、(⑤)思考ができるような人材を育てることも重要である。

あ 革新的	い 目標	う 深化	え 重要度	お 特化
か 緩やかに	き 複雑化	く 使用頻度	け 部分的に	こ 内容
さ 形骸化	し 文化的背景	す 一時的に	せ 使用環境	そ 多面的
た 見方・考え方	ち 批判的	つ 観点	て 創造的	と 不可分に